● ラサ工業株式会社

2019年3月期 第1四半期 決算説明資料

2018年8月10日

証券コード: 4022

目 次

- 1. 事業概要
- 2. 2019年3月期 第1四半期実績

1. 事業概要

事業概要

会社概要

商 号 ラサ工業株式会社

本 社 東京都中央区京橋一丁目1番1号

創 業 1913 (大正2) 年5月1日

設 立 1918(大正7)年6月26日

従業員数 **557名**(連結) <2018年3月31日現在>

■リン系製品

リン酸(一般品、電子工業向け高純度品など)

リン酸塩など

■ 凝集剤 (水処理用など)

■ その他 (コンデンサー向け原料、 消臭剤など) 化成品事業

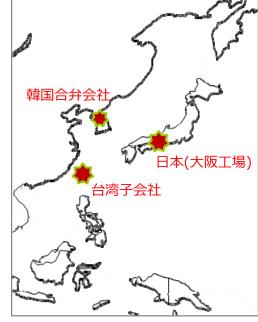
連結売上高 27,427 ^{百万円}

その他事業

電子材料事業

機械事業

- 化合物半導体向け高純度無機素材 (ガリウム、インジウム、高純度赤リン、 高純度酸化ホウ素)
- 放射性3ウ素吸着剤



<半導体向け高純度リン酸の製造体制>

- 建設機械(破砕機、選別機、粉体機器)
- 土木機械(掘進機(上下水道向け))

2. 2019年3月期 第1四半期実績

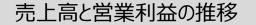
2019年3月期 第1四半期 決算概要

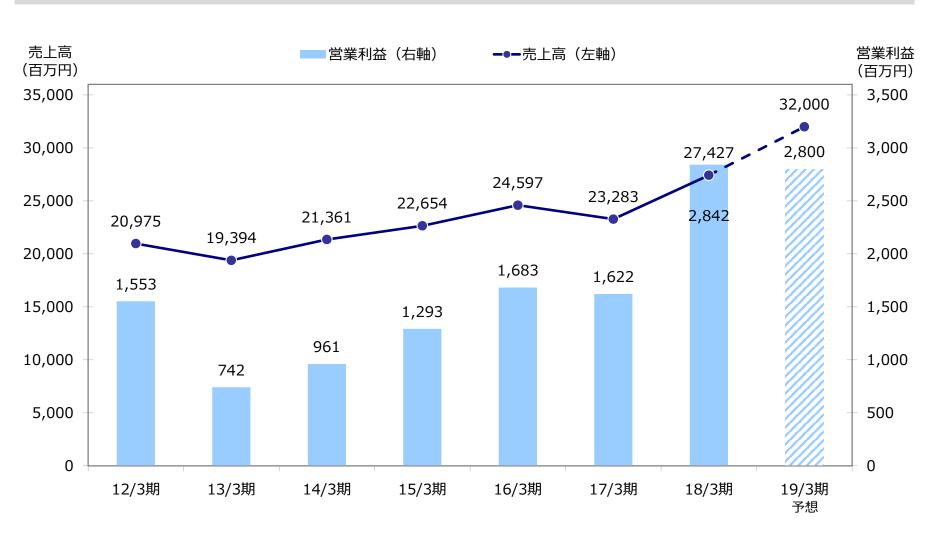
- 化成品事業で半導体向け販売、増産効果も寄与し、増収。
- 利益面でも、計画線上を推移。

	2018/3期 第1四半期	2019/3期 第1四半期	増減	前年同期比
売 上 高	6,377	7,158	781	12.2%
営業利益	511	580	69	13.5%
経常利益	456	606	150	32.9%
親会社株主に帰属する四半期純利益	356	521	165	46.3%

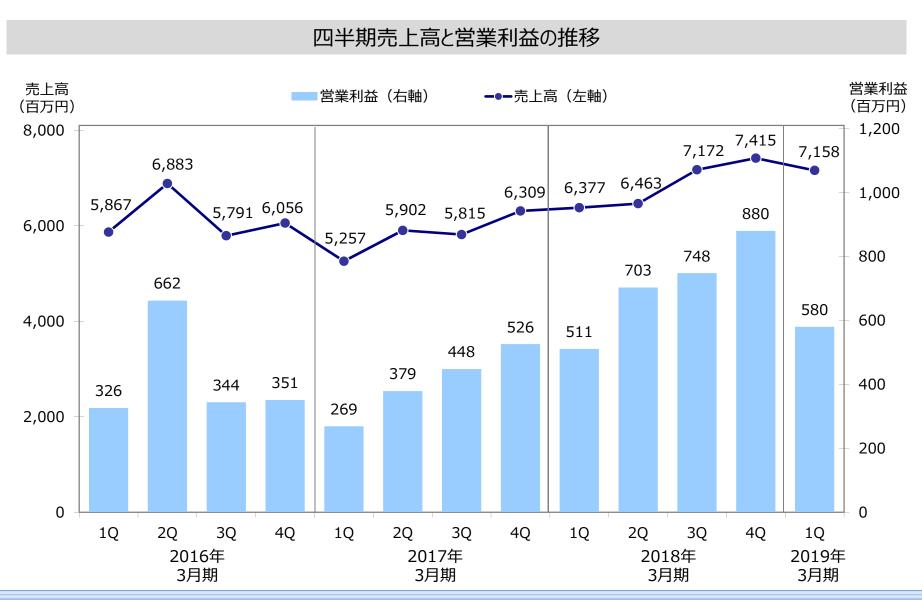
第2四半期 予想	通期予想
15,500	32,000
1,200	2,800
1,200	2,800
1,000	2,300

年度業績の推移





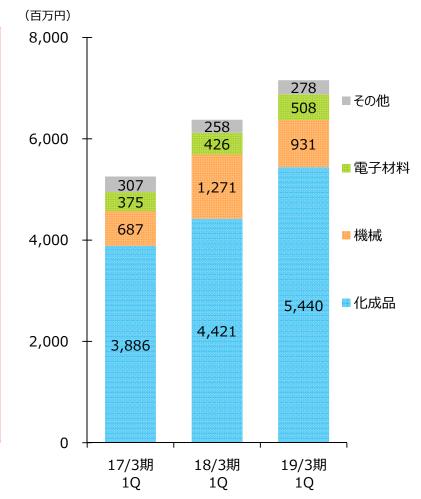
四半期業績の推移



2019年3月期 第1四半期 セグメント別概要(売上高)

売上高の推移

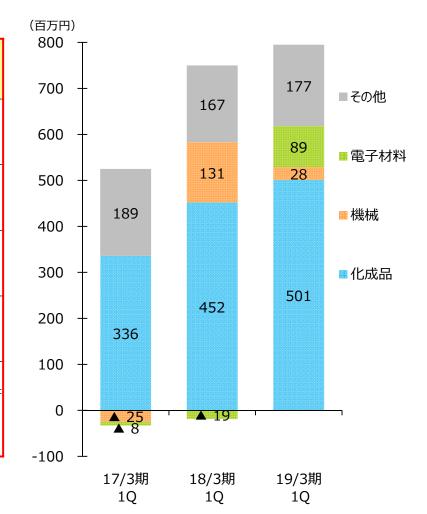
			2018/3期 第1四半期	2019/3期 第1四半期	増減	前年 同期比
化	成	品	4,421	5,440	1,019	23.1%
機		械	1,271	931	△ 340	△ 26.8%
電	子材	料	426	508	82	19.1%
そ	の	他	258	278	20	7.9%
合		計	6,377	7,158	781	12.2%



2019年3月期 第1四半期 セグメント別概要(利益)

セグメント利益の推移

			2018/3期 第1四半期	2019/3期 第1四半期	増減	前年同期比
化	成	品	452	501	49	10.9%
機		械	131	28	△ 103	△ 78.6%
電 -	子材	料	△ 19	89	108	_
7	の	他	167	177	10	5.8%
(語	整客	頁)	△ 220	△ 215	5	_
合		計	511	580	69	13.5%



化成品事業

- リン系製品は、電子工業向け高純度品が堅調、増産効果も寄与。
- その他製品は、コンデンサー向け原料が、客先需要の拡大で増収。

【化成品事業】売上高とセグメント利益の推移

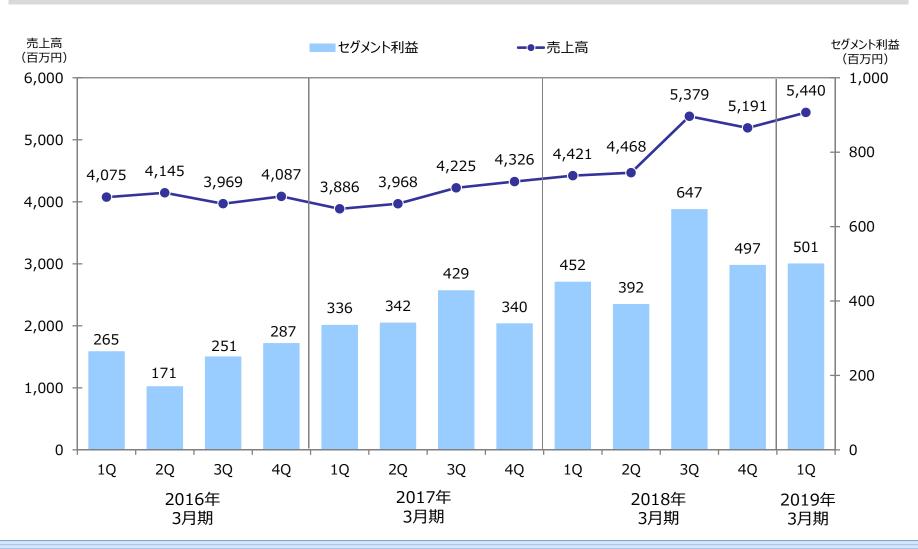
売上高 セグメント利益 セグメント利益 **--**-売上高 (百万円) (百万円) 6,000 **-** 800 5,440 5,000 4,421 600 3,886 501 4,000 452 3,000 + 400 336 2,000 200 1,000 0 0 17/3期 18/3期 19/3期 1Q 1Q 1Q

【化成品事業】製品別売上高の推移



化成品事業 (四半期業績)

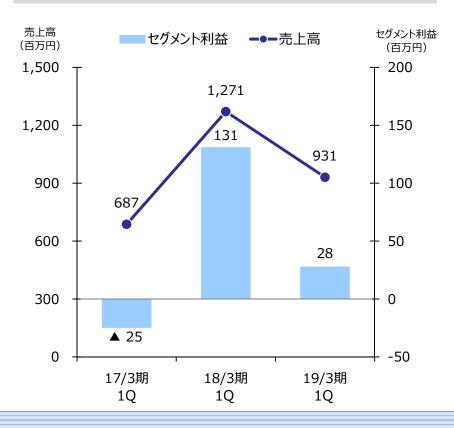
【化成品事業】売上高とセグメント利益の四半期推移



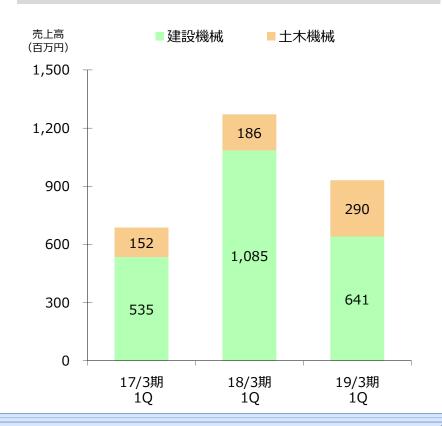
機械事業

- 建設機械は、本体・プラント販売ともに減収。
- 土木機械は、掘進機の本体販売が、アジア向け輸出で回復基調。

【機械事業】売上高とセグメント利益の推移

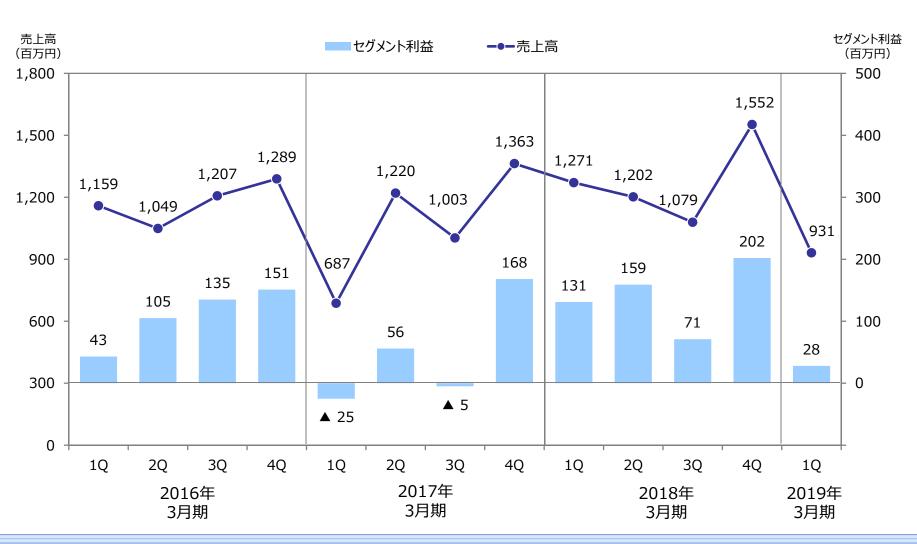


【機械事業】製品別売上高の推移



機械事業 (四半期業績)

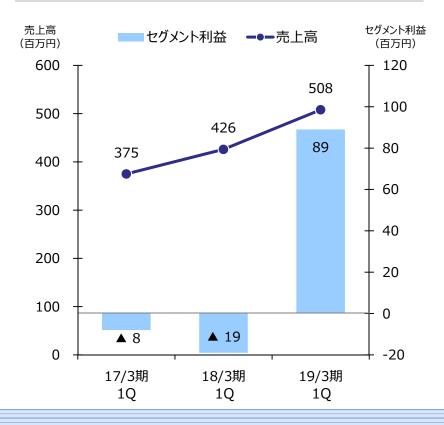
【機械事業】売上高とセグメント利益の四半期推移



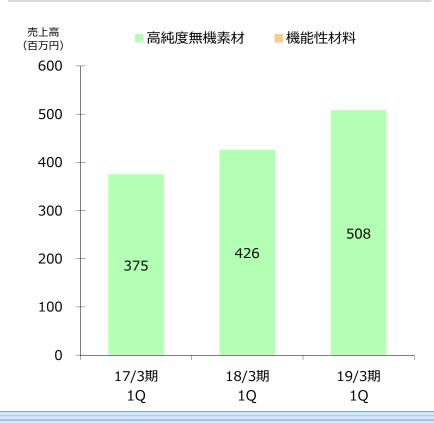
電子材料事業

■ ガリウム、インジウムの市況回復により、販売価格改善、増収。

【電子材料事業】売上高とセグメント利益の推移

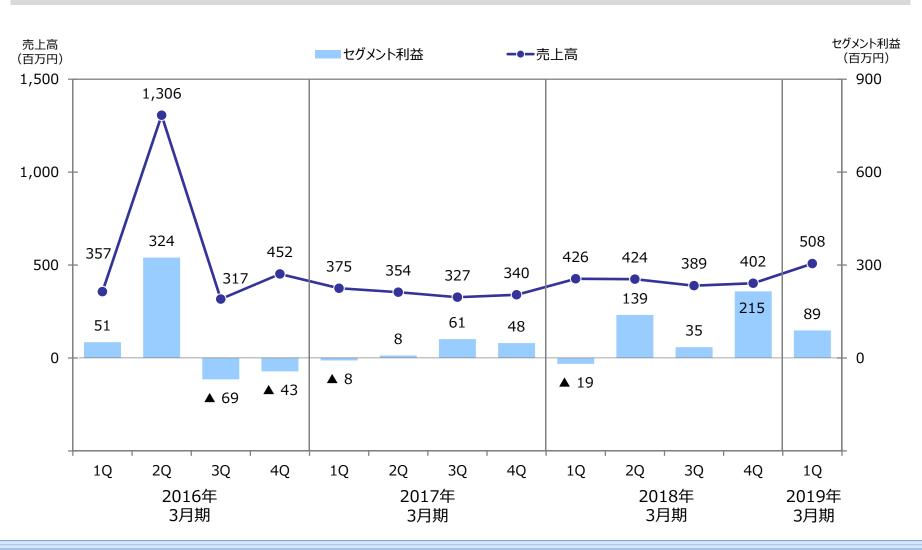


【電子材料事業】製品別売上高の推移



電子材料事業 (四半期業績)

【電子材料事業】売上高とセグメント利益の四半期推移



損益計算書 (連結)

	2018/3期 第1四半期	2019/3期 第1四半期	増減	前年同期比
売上高	6,377	7,158	781	12.2%
売上原価	4,837	5,504	667	13.8%
販売費·一般管理費	1,028	1,072	44	4.3%
営業利益	511	580	69	13.5%
営業外収益	53	120	67	126.4%
営業外費用	108	94	△ 14	△ 13.0%
経常利益	456	606	150	32.9%
特別利益	1	_	_	_
特別損失	_	1	_	_
税金等調整前当期純利益	457	605	148	32.4%
親会社株主に帰属する当期純利益	356	521	165	46.3%

貸借対照表(連結)

(単位:百万円)

(十世·L			
	2018/3月末	2018/6月末	増減
流動資産 計	17,559	17,670	111
現金及び預金	5,188	4,332	△ 856
受取手形及び売掛金	8,248	8,560	312
たな卸資産 ※	3,591	4,334	743
固定資産 計	18,720	19,153	433
有形固定資産	14,583	14,907	324
無形固定資産	947	946	△ 1
投資その他の資産	3,189	3,299	110
流動負債 計	12,992	14,059	1,067
支払手形及び買掛金	4,240	4,485	245
短期借入金	5,410	5,429	19
固定負債 計	10,281	9,645	△ 636
長期借入金	6,813	6,161	△ 652
退職給付に係る負債	2,936	2,957	21
純資産	13,007	13,118	111
自己資本	12,963	13,078	115
非支配株主持分	44	40	△ 4
総資産	36,280	36,823	543
<自己資本比率>	35.7%	35.5%	

※ たな卸資産=商品及び製品+ 仕掛品+ 原材料及び貯蔵品

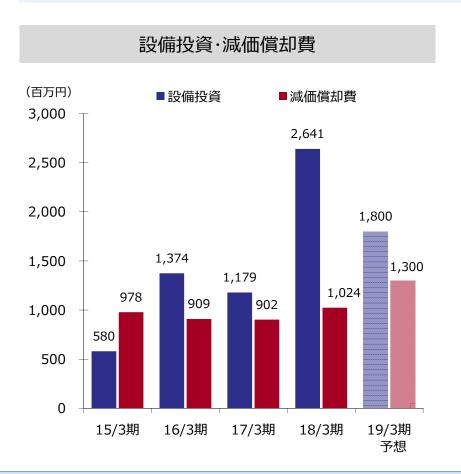
2019/3期の業績予想 (2018年5月14日公表より修正なし)

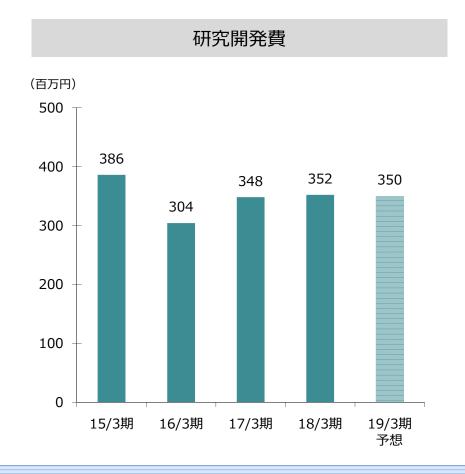
- 化成品事業は、半導体用高純度リン酸他の販売増加の予想も、償却費等のコストアップ を見込む。
- 電子材料事業は、放射性3ウ素吸着剤の販売を見込むも、高純度無機素材において前期あった在庫評価の戻入益を考慮し、増収減益。

	2018/3期	2019/3期予想	増減	前年同期比
売上高	27,427	32,000	4,573	17%
化成品事業	19,459	23,200	3,741	19%
機械事業	5,104	5,700	596	12%
電子材料事業	1,641	2,000	359	22%
その他	1,220	1,100	△ 120	△ 10%
営業利益	2,842	2,800	△ 42	△ 1%
化成品事業	1,988	2,100	112	6%
機械事業	563	600	37	7%
電子材料事業	370	300	△ 70	△ 19%
その他	784	700	△ 84	△ 11%
全社費用など	△ 864	△ 900	△ 36	_
経常利益	2,718	2,800	82	3%
親会社株主に帰属する 当期純利益	2,251	2,300	49	2%
1株配当金	40.00円	40.00円	_	_

設備投資・減価償却費及び研究開発費の推移

- 設備投資は、主に化成品事業において、半導体用高純度リン酸設備の更新と 増強を実施。
- 2019年3月期においても、化成品事業を中心に設備更新をすすめる。





本資料に関する注意事項

本資料に記載されている内容は種々の前提に基づいたものであり、将来の数値等に関する記載については、不確実な要素を含んだものとご理解下さい。

- IRに関する問い合わせ窓口 -ラサ工業株式会社 経理部 03-3278-3892